

平成21年度理事会（総会）議事録

日 時：平成21年1月18日（日）10時～15時

場 所：クーポール会館

出席者：68名

会長挨拶

昨年は全日本レディース大会とアジアシニア大会の大きな大会を地域の協会の協力を頂き立派に開催できました。今年は日本スポーツマスターズ大会を草薙で開催しますのでよろしくお願いいたします。また、全日本社会人選手権大会で沼津（明電舎）の望月大輝選手が優勝し、東日本大会では小澤 孝・鈴木義勝ペアがシニア男子55の部で優勝した。今年も多くの大大会スケジュールをこなし、ソフトテニスの発展に努めていきたい。

1. 20年度事業報告（落合理事長）

全日本レディース大会とアジアシニア大会は、役員の皆様にお世話になり、無事終了できました。

(1) 競技力向上事業について

ア 競技者育成プログラムの推進

- ・Step 1-2及びStep 2の実施体制の充実

競技者育成プログラムStep 1-2を東中西部で実施した。結果を振り返り今後の実施方法について、東中西部代表者と意見交換をした。

地区ごとに取り組みが異なりますが、これから意見交換等を重ね、より良いものにしていきたいので、理事の皆さんのご協力をお願いしたい。

- ・指導者育成事業の実施

コーチ資格を中学・高校の指導者が取得した。（野田英明、鈴木秀和…20年1月取得、高橋 一、若杉嘉宏…21年2月取得）

今後は、コーチ資格者を中心に、ジュニア指導者、特に中学の指導者、顧問の先生方の育成事業を重点に実施していきたい。

イ 国民体育大会の結果について

成年女子が東海予選なしで参加。成年男子は東海予選最下位だったが今年は期待したい。少年男子の東海予選は惜しくも2位で、本大会出場を逃したが今年はストレートなので全国大会での活躍が期待できる。いずれにしても東海で勝つのは厳しい状況であるが頑張っていきたい。

(2) 会員登録の徹底について…配布資料により説明

中学生は登録数が高いが、一般の登録が少ない。全員が登録をするよう理事の皆さんの認識と登録推進にご協力をお願いしたい。

(3) ジュニア審判について…配布資料により説明

資格取得の促進を図り、11月末までに3,500人余りの小学生・中学生がジュニア審判員の資格を取得した。21年度も引き続き資格取得の促進を図っていく。

(4) 全日本レディース個人戦大会の報告(市川雅子副理事長)

静岡県下に亘りコート面数が多く大変であったが、県連と各協会のご協力を頂き、立派な大会が開催でき、高い評価も頂いた。おかげで県OG会の自信となった、

(5) アジアシニア大会の報告(佐野富士宮協会長)

試合およびレセプション等、皆様のご協力を頂き立派な大会ができた。外国選手も富士山を見ることができ、素晴らしい大会になりました。ありがとうございました。

(6) 各委員長よりの報告

・足立競技者育成部会委員長

競技者育成プログラムは皆様のご協力を得て実施していきたい。

・岩田中学生委員会委員長

ジュニア審判を大勢の人に取ってもらった。来年度はうまく流れていくと思う。ジュニア審判を取ることで、プレーにも関係してくると思う。

・市川雅子レディース委員長

年3回の練習会を開催しています。2月11日に清水体育館で中央練習会を北海道の安藤先生を講師に招き開催します。

・足立高校生委員会委員長

選手(生徒)が減ってきて2,000人を割り、非常に危機感を感じています。部活動も減ってきて、静岡県には150校あるがソフトテニス部があるのは半分程度である。

(7) 20年度ランキングについて

理事会資料「ランキング」に基づき報告。

望月大輝選手(明電舎)が全日本総合男子2位、社会人1位でナショナルチーム入りをした。

(8) 会議等経過報告について

理事会資料「会議等経過報告」に基づき報告。

大会以外の行事等の活動状況です。今年度はレディース大会、アジアシニア大会、マスターズ大会関連の打合せが多くありました。

(9) 20年度表彰者について

理事会資料「20年度表彰者」に基づき報告。

特に小学生が頑張った。指導、強化が実を結んだ結果と思います。

(10) 日本連盟評議員会議の報告

- ・21年度より会員登録システムに審判資格、技術等級を組み込む。審判手帳がなくなるので年3回以上の認印も必要なくなる。更新手続きは従来通りである。詳細は決まり次第報告します。

- ・会員登録カードは日本連盟から直接所属団体に送付するので、会員登録団体管理者（送付先）の住所・氏名を必ず入力しておくこと。
- ・競技者育成プログラムのUnder 18をUnder 17に、Under 21をUnder 20に変更した。東海のStep 3には高校3年生を含めることで検討中である。
- ・ゼッケンの見直しをした。（別紙ゼッケン見本による）
すでに作成済みのゼッケンはそのまま使用してください。
- ・国民体育大会参加者の傷害補償制度は、東海と本大会のみ入ることとし、予選会参加者は入らなくてよかった。

(11) 東海連盟理事会の報告

- ・愛知県の澤田康彦氏（高体連）が理事になった。
 - ・東海シングルス選手権大会を23年度より実施する。
 - ・競技者育成プログラムStep 3の開催場所は各県持ち回りとする。
22年度 愛知県、23年度 静岡県、24年度 岐阜県、25年度 三重県
 - ・東海小学生インドア選手権大会の補助金は、参加料を含め20万円とする。超過した場合は主管県の負担とする。
 - ・国体東海ブロック大会のゼッケンはB5判で上段に静岡、下段に苗字とする。
 - ・1級審判員研修会は21年2月1日（日）鈴鹿スポーツガーデンで開催する。
21年度は愛知県で開催する。
- 20年度収支決算報告（鈴木事務局長）
理事会資料「収支決算書」に基づき報告。
 - 20年度収支決算監査報告（川西監事）
12月7日にエコパアリーナで監査を実施し、正確に処理され、相違ない旨の報告があった。
【20年度事業報告、収支決算報告が異議なく承認された。】
 - 役員自己紹介
 - 台湾親善訪問団の報告（沼本副会長）
 - 中学生選手権大会の参加枠数の見直しについて（岩田副理事長）
岡部は焼津から外し、藤枝に入れる。焼津の男子は大井川中学だけとなる。
別紙「21年度静岡県中学生選手権大会の協会別参加枠数」による。
 - 役員改選
役員選考委員会より報告（久保田選考委員長）
 - * 会長 高木安一郎（留任）、副会長 沼本 脩（留任）、岩本義久（留任）、
船越徳一郎（留任）、佐野正和（新任）
 - * 理事長 落合敏男（留任）、副理事長 鷺頭典利（留任）、市川 博（留任）、
小林 正（留任）、市川雅子（留任）、村中 優（新任）
 - * 監事 榛葉正志（留任）、吉岡隆夫（新任）、松浦和彦（新任）

- * 事務局長 鈴木敏幸（留任）、副事務局長 石黒庄司（新任）、三津山克利（留任）
 - * 顧問 上村光衛（留任）、大橋照男（留任）、佐野 誠（留任）、遠藤幸司（留任）、伊藤 朱（留任）、石川雅之（副会長から顧問に）、
 - * 秋山 武（副理事長から顧問に）、増田宜夫（参与から顧問に）
- 会員団体の県連理事、常任理事が決まり次第、報告ください。

8. 会長挨拶、新任役員・退任役員の挨拶

9. 21年度重点事業計画案の発表（落合理事長）

(1) 競技力向上事業の実施

競技者育成プログラムの推進

Step1-2、Step2の実施体制の充実、指導者の研修会の実施、ジュニア指導者の指導・育成等を重点実施する。

(2) 会員登録制度の徹底について

特に、一般の会員登録の推進を図りたい。各地区協会の大会においても会員登録を参加資格とするよう、協力をお願いします。

(3) ジュニア審判員の資格取得の推進

- ・ 昨年と同様に県連盟主催の大会への参加は資格が必要、中体連主催の大会はできる限り取得をすることが望ましい。
- ・ 初心者には、先ずルールを指導してもらいたい。審判講習会に来てもルールも知らない生徒がいる。
- ・ 合格ライン、採点等のジュニア審判講習会マニュアルも作成していきたい。

(4) 日本スポーツマスターズ2009富士山静岡大会の開催

- ・ 静岡県は2チーム参加するように県予選会を実施したい。
- ・ 準備委員会を早急に立ち上げ、1月末には競技役員を決めていきたい。
- ・ 2月10日に県体育協会に予算案を提出する。

(5) 東海小学生インドア選手権大会の開催

12月23日に東遠カルチャーパーク「さんりーな」（掛川）で開催する。

(6) 国民体育大会東海ブロック大会の開催

8月15日に有度山テニスコートで開催する。審判の協力をお願いしたい。

(7) 全日本超壮年東西対抗大会の開催

11月11日・12日に花川で開催する。西部地区の方々の協力をお願いします。

(8) 要覧の作成

広報委員会でまとめ、発行する。

意見：会員登録傷害補償制度のパフレットを日連で作成してあればほしい。

回答：日連に確認し、あれば配布する。

10. 21年度収支予算書案について（鈴木事務局長）

理事会資料「平成20年度収支予算書案」に基づき説明し、承認された。

補足事項

- ・マスターズの会計は別途会計にする。
- ・繰越金が毎年減ってきているので、県連盟登録金の徴収を検討する時期である。

11. 21年度大会・行事予定の調整（落合理事長）

- ・県選手権浜北大大会は4月5日から12日に変更する。
- ・富士選手権は県シニア選手権と同一日になるため、5月31日に変更する。
- ・岡村杯を6月21日実施の追記。
- ・6月21日の国体予選を開催する場合は女子のみとし、男子は7月4日に実施する。
- ・8月8日の競技者育成プログラムStep-2 U17は日程を再検討する。
- ・11月3日富士宮市制大会実施の追記。
- ・11月24日山静シニア大会の追記。
- ・2級審判検定会・更新研修会 2月6日から2月7日に訂正。

【平成21年度大会・行事予定表（21.2.3修正版）による。】

12. その他報告事項・意見

(1) アジアシニア選手権大会決算報告（助野富士宮協会事務局長）

「第18回アジアシニアソフトテニス選手権大会決算書」に基づき説明、承認された。

(2) 中学生の会員登録育成費（還元金）についての意見

育成費を強化だけではなく、普及にも使ってほしい。また 使い道を明確にしてほしい。（布川理事）

回答：中学生部会でジュニア育成費の活用策を検討する。

(3) 東部地区2級審判員更新講習会について

3月22日沼津で2級審判員更新講習会を実施する。3月10日申込締め切り。

更新予定者がわからないので、一覧を各協会に送る。…事務局から送付する。

(4) 近県シニア大会について

他県の参加者が少ないので個々のクラブ宛てに参加依頼を出した方がよい。

成年が入っているのに、シニア大会ではおかしい。変更を検討する。

(5) 事務費他について

今後の役員のため、県連事業に対する報酬を検討していくべき。

…現時点では、審判講習会、競技者育成プログラムの指導者等には、謝礼金を出しているが、今後は、強化委員、大会運営役員等への謝金を検討していきたい。

閉会のことば（船越副会長）

たくさんの難しい問題の解決にみなさんの協力をお願いします。

理事会終了後、20年度の功労者、優良団体、ランキング、優秀選手、優秀チーム等の表彰を行った。